

会山行 No.2412

**足利：石尊山奥宮南西稜&南壁**

- ◆日程 2023年4月8日 (土)
- ◆メンバー L：TY、SD、OT、GT
- ◆天候 薄曇り

アルパインクライミングへの第一歩として西上州周辺の藪岩バリエーションを企画した。本チャンのバリエーションルートと比べれば難易度はグッと下がるがそれでも上手く出来るか半信半疑の中、仲間と共に一歩を踏み出した。落石の多さには要注意だがアルパインクライミングに向けた良い練習となった。易から難へと経験を積んでいつしか仲間と共にバリエーションのクラシックルートに挑みたい。

(記:TY)

朝5時に保土ヶ谷を出発、8時前に石尊山登山口付近の駐車場へ到着。登攀開始まで歩くため、登攀道具はザックにしまって入山。登山口から入ってすぐに小さなお寺があり、無事の下山をお祈りする。

一般登山道をすすみ、途中少しルートを外れてしまったものの、計画していたバリエーション岩稜へたどり着く。低山ながら尾根が狭くなかなかの高度感があり、北アルプス岩稜のトレーニングに良いねと話しながら足を進める。ロープが必要なレベルではなく四肢を使っての中間目標地点へ到達。

ここからは懸垂下降2回とクライムダウンで登攀開始地点へ向かう。計画上は空中懸垂があり空中懸垂未経験の私は少々心配していたが、足がつかない箇所はほとんどなかった。懸垂下降の練習経験が少なかったためセットに時間がかかってしまい、やはり反復継続が重要だと実感した。

ここからは6ピッチで山頂を目指す。TYさん&OTさんとSDさん&GTの2パーティーに分かれて登攀を開始。最初の2ピッチが核心と聞いていたが、事前情報通り1ピッチ目はなかなかの斜度、2ピッチ目はすっぱり切れた高度感のあるトラバースでなかなかの緊張感を味わった。3ピッチ目から徐々に登攀レベルは下がるものの、岩がもろくラックが多発し、枯れ枝や滑りやすい土壤に苦労しながら進んでいく。TYOTパーティーは交代でリードをしていたが、SDGTパーティーはGTが初心者のためSDさんがずっとリード。一番難易度の低そうな5ピッチ目で人生初のリードクライミングを経験させていただいた。ロープがとにかく重く、1ピッチ分進むだけでもフォローの倍の時間がかかる。TYさんに確保の方法を教わってロープアップし、SDさんが5ピッチ目を終えた頃には腕はパンパン。改めてリードのすごさ・大変さを認識。疲労困憊でなんとか山頂へ到達することができた。

下山後は近くのキャンプ場で個性的なキャンプ場オーナーのオヤジと会話を楽しみ、美味しいBBQとお酒で満足な一日を締めくくった。岩稜・懸垂下降・登攀と1座で様々なクライミング練習ができ、非常に充実した1日となった。

(記:GT)



CT:叶花集会所 8:10 - 石尊山 14:52 - 叶花集会所 15:38